

# 歯学研究科4年 梅木泰親君(現 口腔内科学講座 学部助手)の学位論文が Global Medical Discovery の Key Scientific Article に選ばれました。

PLoS One に掲載された梅木君の論文が、医学、生物学、薬学分野に関する世界の注目論文を紹介するカナダの医学情報サイト [Global Medical Discovery](#) に [Key Scientific Article](#) として2014年12月8日付けで紹介されました。

抗肥満ホルモンであるレプチンが、局所投与により口腔粘膜の潰瘍の治癒を促進させることが明らかとなり、粘膜潰瘍の新しい治療薬としての応用が期待される成果です。

